



平成 28 年 8 月 31 日

**QB 第一号ファンド 「株式会社 先端医療開発」 への出資について**

西日本シティ銀行（頭取 谷川 浩道）は、地域の事業会社等と共同で出資している「QB 第一号ファンド」（以下「本ファンド」）において、二件目の投資案件となる「株式会社 先端医療開発（代表取締役 松原 正東）」（以下「当社」）への出資を行いましたので、お知らせします。

本ファンドは、当行が九州大学の特定関連会社である株式会社産学連携機構九州（代表取締役社長 前田 真）と共同で設立した QB キャピタル合同会社（代表社員：坂本 剛、本藤 孝）が運営するもので、九州の大学の研究成果を活用した新産業の創出による九州経済活性化を目的として平成 27 年 9 月に設立されたファンドです。

当行は、地域金融機関として、本ファンドを通じて大学発ベンチャーの成長及び地域経済の活性化を積極的に支援してまいります。

## 記

**1. 対象企業の概要**

会 社 名	株式会社 先端医療開発
本 社 住 所	福岡県福岡市博多区下川端 2 番 1 号 博多座・西銀再開発ビル 9 階
代 表 者	代表取締役 松原 正東
設 立	平成 19 年 2 月 8 日
事 業 内 容	医薬品、医療機器、医薬部外品の研究開発及び健康食品の製造販売、 高度管理医療機器販売
資 金 使 途	DDS※を活用したナノ粒子製剤の開発資金等

※DDS（Drug Delivery System）とは、医薬品を必要な場所に、必要な時間、必要な量だけ送達する技術。

**2. 本件概要**

当社は、九州大学循環器病 未来医療研究センター 循環器病先端医療研究開発学部門 教授 江頭 健輔 氏の研究成果を活用した九州大学発のベンチャー企業です。本件は、当社下記の点を評価し投資を行ったものです。

**(1) 将来性**

わが国の高齢化の進展等を背景に、医療技術の高度化が求められる中、新たな治療薬の開発が期待される。

**(2) 高い技術力**

ピタバスタチンなど、難治性心血管病向け薬剤封入ナノ粒子製剤の開発を行っている（特許保有）。

**(3) 地域経済の活性化**

九州の大学の研究成果を活用した新産業の創出及び地場企業の成長支援を行うことにより、地域経済の活性化が期待される。

以 上

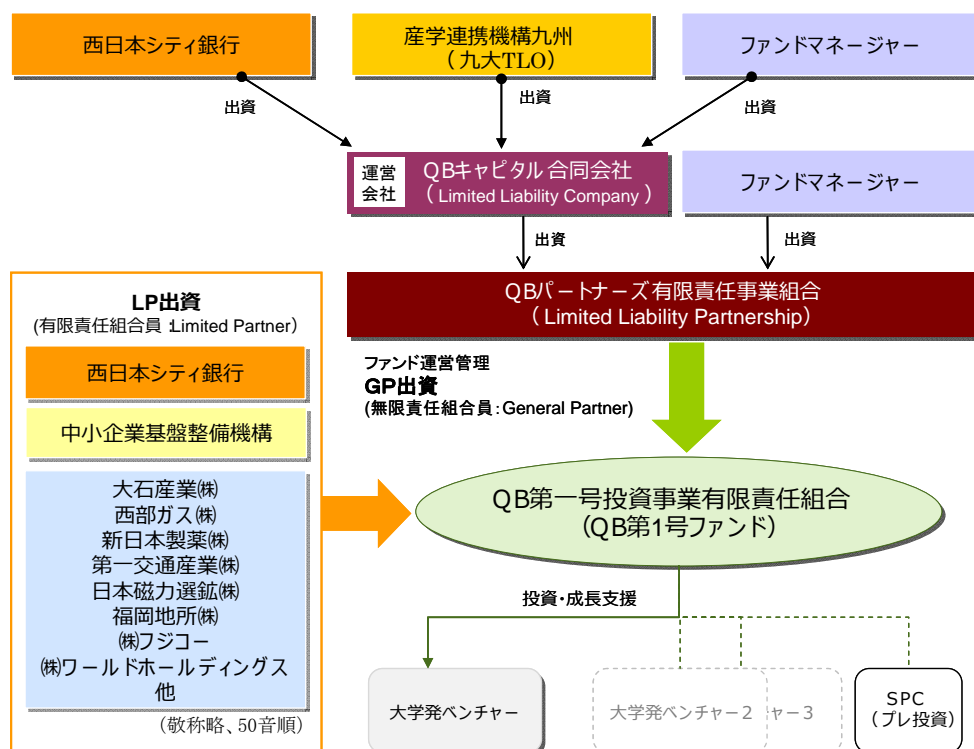
1. ファンドの概要

名 称	QB 第一号投資事業有限責任組合（通称：QB 第一号ファンド）
設 立 日	平成 27 年 9 月
フ ァ ン ド 総 額	約 31 億円
無 限 責 任 組 合 員 (GP: General Partner)	QB パートナース有限責任事業組合
有 限 責 任 組 合 員 (LP: Limited Partner)	株式会社西日本シティ銀行、独立行政法人中小企業基盤整備機構 地域事業会社 他
存 続 期 間	10 年間

2. 運営会社の概要

名 称	QB キャピタル合同会社
設 立 日	平成 27 年 4 月
所 在 地	福岡市早良区百道浜 2-1-22 SRP センタービル
出 資 者	株式会社西日本シティ銀行 株式会社産学連携機構九州 他
代 表 社 員	坂本 剛 本藤 孝

3. ファンドスキーム図



本件に関するお問い合わせ先  
 法人ソリューション部 渡辺・折尾 TEL092-476-2741